

2010年3月期第2四半期決算説明会

2009.11.26

NIPPON YAKIN

日本冶金工業株式会社

本日のアジェンダ

1. 2010年3月期第2四半期決算サマリー

取締役経理部長 久保田 尚志

2. 足元の市況と高機能材マーケット

代表取締役社長 杉森 一太

＜参考＞主要データ(連結ベース)

2010年3月期第2四半期決算のポイント

- ① 中国をはじめとした各国政府による内需拡大政策により、輸出市場を中心に数量面では回復基調を持続する展開になり、リーマンショック前の約70%程度を回復。
- ② 原料価格面では、ステンレス鋼向け需要の回復を受けニッケルなど原料価格が上昇に転ずる動きを見せるなど、コスト面では厳しい局面になり、原料価格上昇分を完全にはカバー出来ず。
- ③ 内外市場において徐々に価格改定が進んでいること、棚卸資産圧縮の効果などから低価格の影響が限定的になってきたことなど、環境改善は進みつつある。

損益計算書 連結 概要

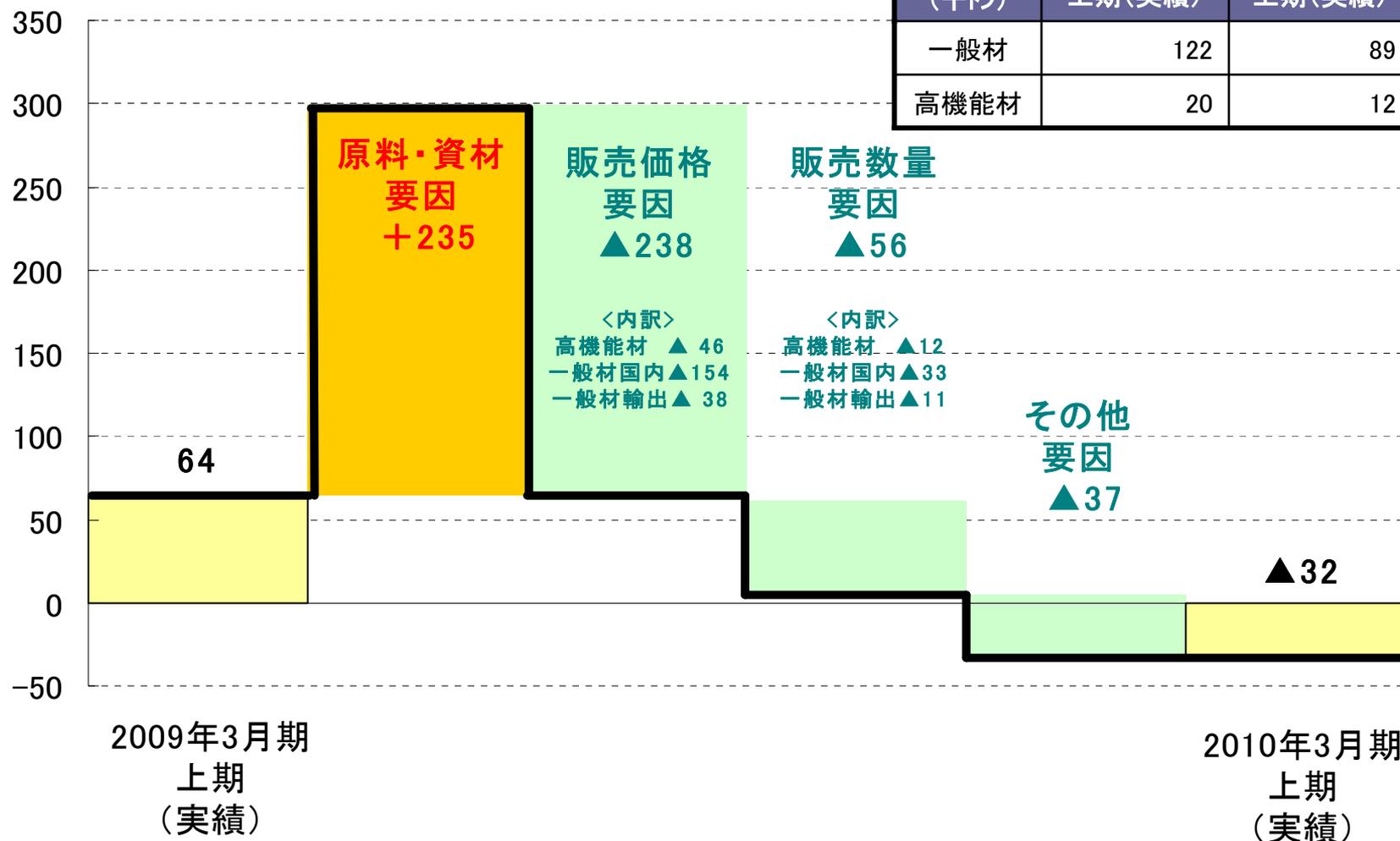
	2009年3月期 第2四半期 累計実績 (億円)	2010年3月期 第2四半期 累計実績 (億円)	前年比 (億円)	前年比 (%)	(ご参考) 2009年3月期 通期実績 (億円)
売上高	1,057	440	▲ 617	▲ 58.4	1,637
営業利益	64	▲ 32	▲ 96	▲ 149.6	▲ 152
経常利益	57	▲ 40	▲ 97	▲ 170.6	▲ 164
中間(当期)純利益	37	▲ 26	▲ 63	▲ 171.1	▲ 113
ROA(%)	7.0	▲ 4.2			▲ 8.8
自己資本比率(%)	39.4	36.3			37.2
高機能材部門 売上高比率(%)	32.5	26.1			34.1

(注)ROAは年換算:(営業利益+受取利息・受取配当金)÷期初・期末平均総資産×2

(ご参考)ニッケルLME期中平均価格:2008年度上期10.12US\$/Lb、2009年度上期6.94US\$/Lb。

営業利益変動の要因分析(上期比較:億円)

販売量 (千トン)	2009年3月期 上期(実績)	2010年3月期 上期(実績)
一般材	122	89
高機能材	20	12



貸借対照表 連結 概要

	2009年3月末 (億円)	2009年9月末 (億円)	前期比増減 (億円)	2009年3月末 構成比 (%)	2009年9月末 構成比 (%)
現金・預金	79	95	16	5.3	6.5
売掛債権	187	171	▲ 16	12.6	11.7
たな卸資産	248	244	▲ 4	16.7	16.7
その他流動資産	49	15	▲ 34	3.3	1.0
固定資産	926	935	9	62.2	64.0
【資産合計】	1,489	1,460	▲ 29	100.0	100.0
借入金・社債	582	602	20	39.1	41.2
その他負債	348	323	▲ 25	23.4	22.1
【負債計】	930	925	▲ 5	62.5	63.4
【純資産計】	559	535	▲ 24	37.5	36.6

キャッシュフロー計算書 連結 概要

	2009年3月期 第2四半期 累計実績 (億円)	2010年3月期 第2四半期 累計実績 (億円)	前年比 (億円)	(ご参考) 2009年3月期 通期実績 (億円)
営業活動によるキャッシュフロー	88	12	▲ 76	116
税金等調整前中間(当期)純利益	46	▲ 42	▲ 88	▲ 185
減価償却費	26	28	2	54
売上債権の増加額(△)又は減少額	50	15	▲ 35	207
たな卸資産の増加額(△)又は減少額	45	4	▲ 41	252
仕入債務及び前受金の増加額又は減少額(△)	▲ 12	▲ 15	▲ 3	▲ 102
法人税等の支払額	▲ 64	21	85	▲ 89
その他	▲ 3	1	4	▲ 21
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 24	▲ 12	12	▲ 53
有形無形固定資産の取得による支出	▲ 24	▲ 14	10	▲ 50
その他	0	2	2	▲ 3
フリー・キャッシュフロー	64	0	▲ 64	63
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 63	16	79	▲ 32
長短借入金の純増加額又は純減少額(△)	▲ 56	20	76	▲ 17
その他	▲ 7	▲ 4	3	▲ 15
現金及び現金同等物の増減	▲ 1	17	18	27

2010年3月期連結業績予想

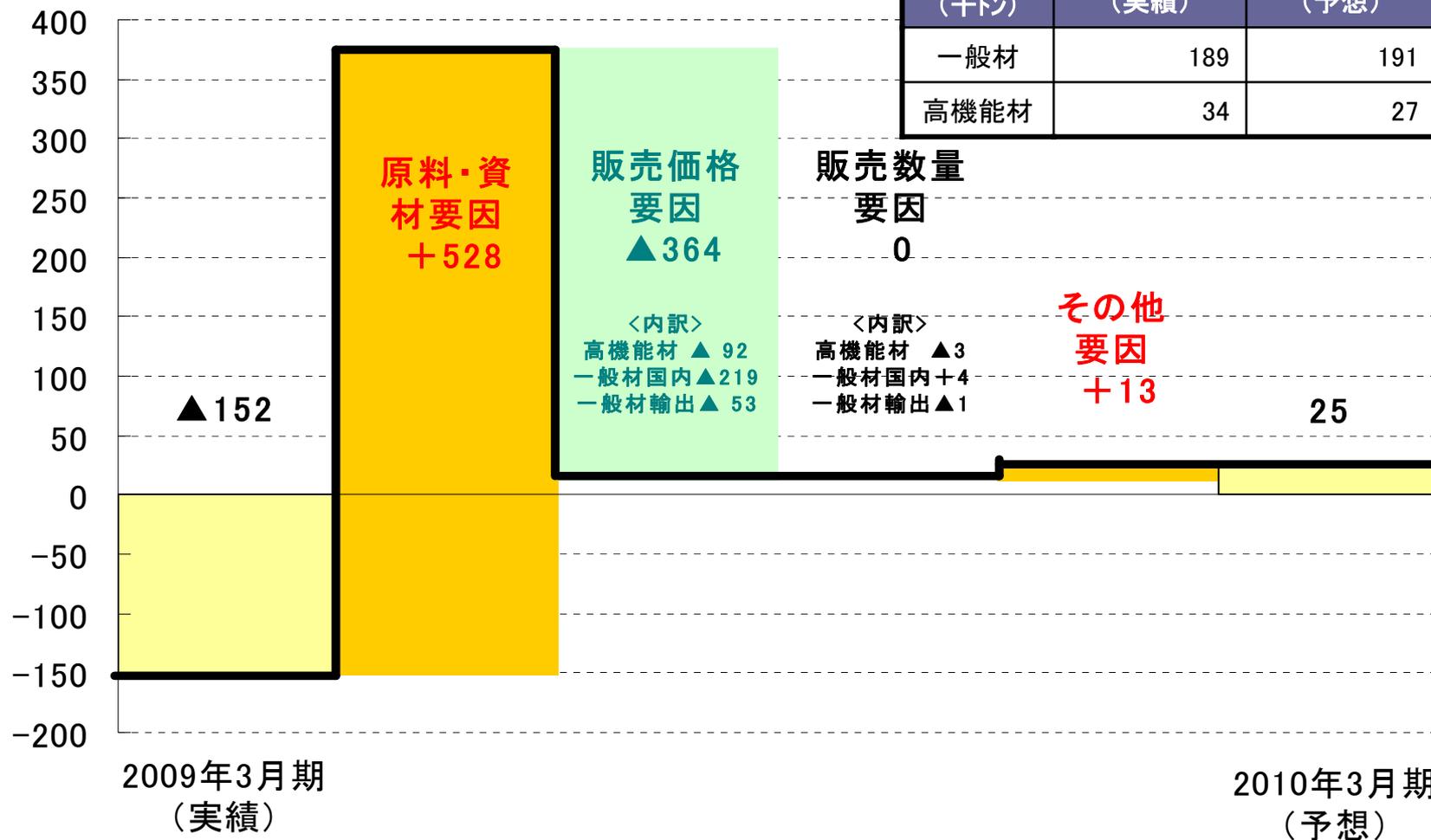
	2009年3月期	2010年3月期			中期経営計画 2011年3月期 (億円)
	通期実績 (億円)	今回予想 (億円)	前年比 (億円)	前年比 (%)	
売上高	1,637	1,040	▲ 597	▲ 36.5	2,380
営業利益	▲ 152	25	177	▲ 116.4	210
経常利益	▲ 164	10	174	▲ 106.1	180
当期純利益	▲ 113	5	118	▲ 104.4	105

(注) 2010年3月期予想: 前回2009年5月8日時点から変更なし。

(前提) 2010年3月期ニッケルLME期中平均価格: 7.50US\$/Lb、為替レート90円。

営業利益変動の要因分析(前期比較:億円)

販売量 (千トン)	2009年3月期 (実績)	2010年3月期 (予想)
一般材	189	191
高機能材	34	27



中期経営計画数値の実績・目標

(%)

	07年3月期 (実績)	08年3月期 (実績)	09年3月期 (実績)	10年3月期 上期 (実績)	11年3月期 (中計)
高機能材部門売上高比率	27.7	30.5	34.1	26.1	50.0
ROA(連結ベース)	15.0	16.1	▲ 8.8	▲ 4.2	10.0
自己資本比率(連結ベース)	27.8	35.7	37.2	36.3	40.0

(注)ROA=(営業利益+受取利息・受取配当金)／期初・期末平均総資産、上期は年換算のため×2。

配当について

- ▶ 2010年3月期の中間配当
普通株式1株当たり・・・配当なし
- ▶ 2010年3月期の配当予想額
普通株式1株当たり・・・3円

連結子会社との合併(簡易合併・略式合併)について

- 合併期日：平成22年4月1日
- 当社の100%子会社3社を対象とする吸収合併
- 合併の目的：
 - ①事業環境への対応
 - ②ステンレス特殊鋼事業のより実態に即した開示の必要性
 - ③企業ガバナンスの向上
 - ④一体化したシステム開発・運営による機能向上
- 当社グループの連結業績への影響は軽微

合併当事者の概要

商号	日本冶金工業株式会社	株式会社 YAKIN川崎	株式会社 YAKIN大江山	ナスビジネスサービス株式会社
所在地	東京都中央区	神奈川県川崎市	京都府宮津市	東京都中央区
主な事業内容	ステンレス鋼、耐熱鋼及び高ニッケル合金鋼の鋼板、鍛鋼品並びに加工品の製造・販売	ステンレス鋼特殊鋼、ニッケル等の非鉄金属及びその合金の製造加工並びに販売	鉄及びフェロニッケルの製錬並びに販売	コンピューター情報システムの開発と運用及び手形買取・債権買取業務
主な株主構成	—	日本冶金工業株式会社 100%	日本冶金工業株式会社 100%	日本冶金工業株式会社 100%

本日のアジェンダ

1. 2010年3月期第2四半期決算サマリー

取締役経理部長 久保田 尚志

2. 足元の市況と高機能材マーケット

代表取締役社長 杉森 一太

＜参考＞主要データ(連結ベース)

ステンレス一般材の状況

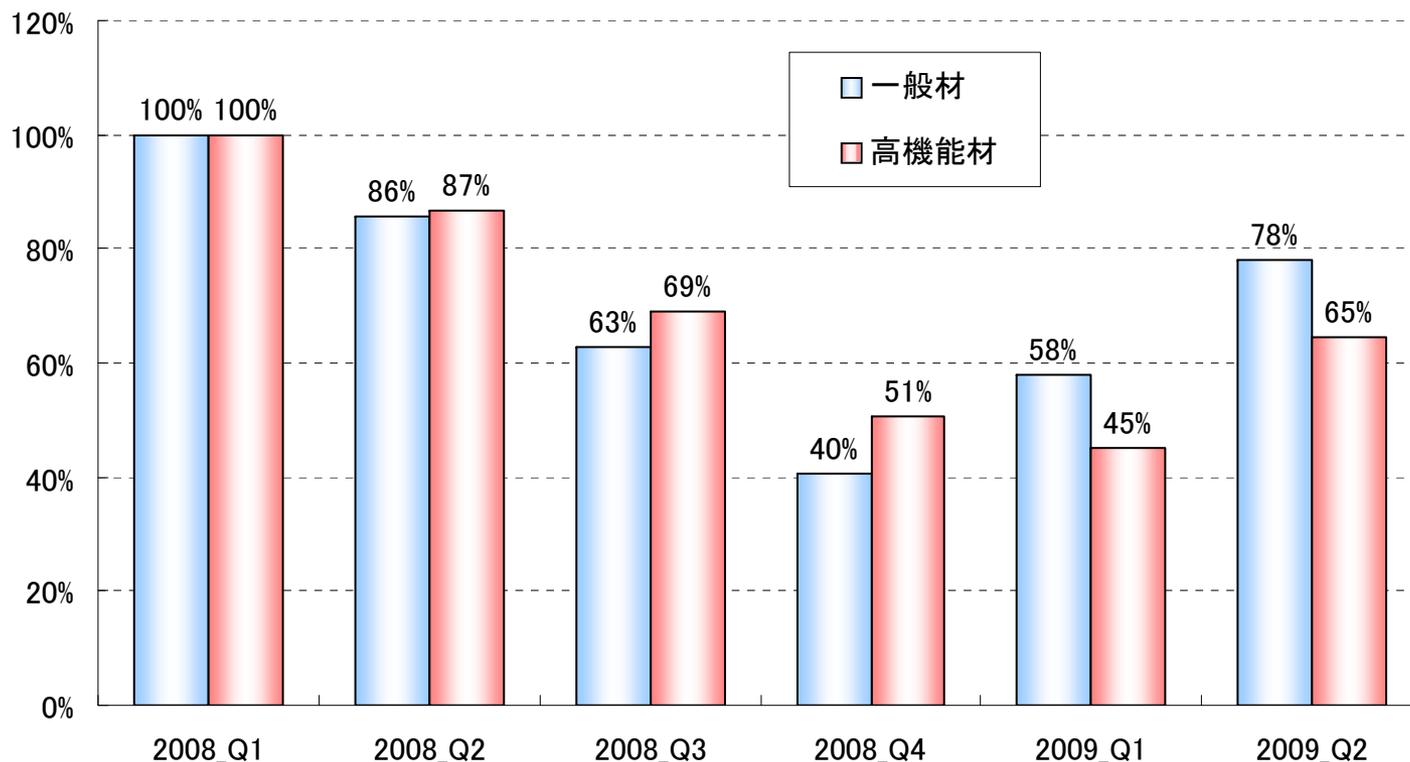
(1) 国内マーケット	(2) 海外マーケット
<ul style="list-style-type: none">▶ 上期の需要は緩やかな回復傾向だが業種により回復度合いに差異▶ 市中在庫は適正を下回るレベルに到達	<ul style="list-style-type: none">▶ 各国の景気刺激策(特に中国)とニッケル価格上昇に相俟って夏場には仮需も伴い活況



<ul style="list-style-type: none">▶ 足元の需要見通しはまだ不透明感が残る▶ ユーザー・流通は在庫差損リスクの回避を優先。	<ul style="list-style-type: none">▶ 足元は、在庫の積み上がりと先行き不透明さから増勢に一服感
---	--

販売量 《一般材及び高機能材》

➤ 一般材は2008年度第4Q、高機能材は2009年度第1Qをボトムに回復基調

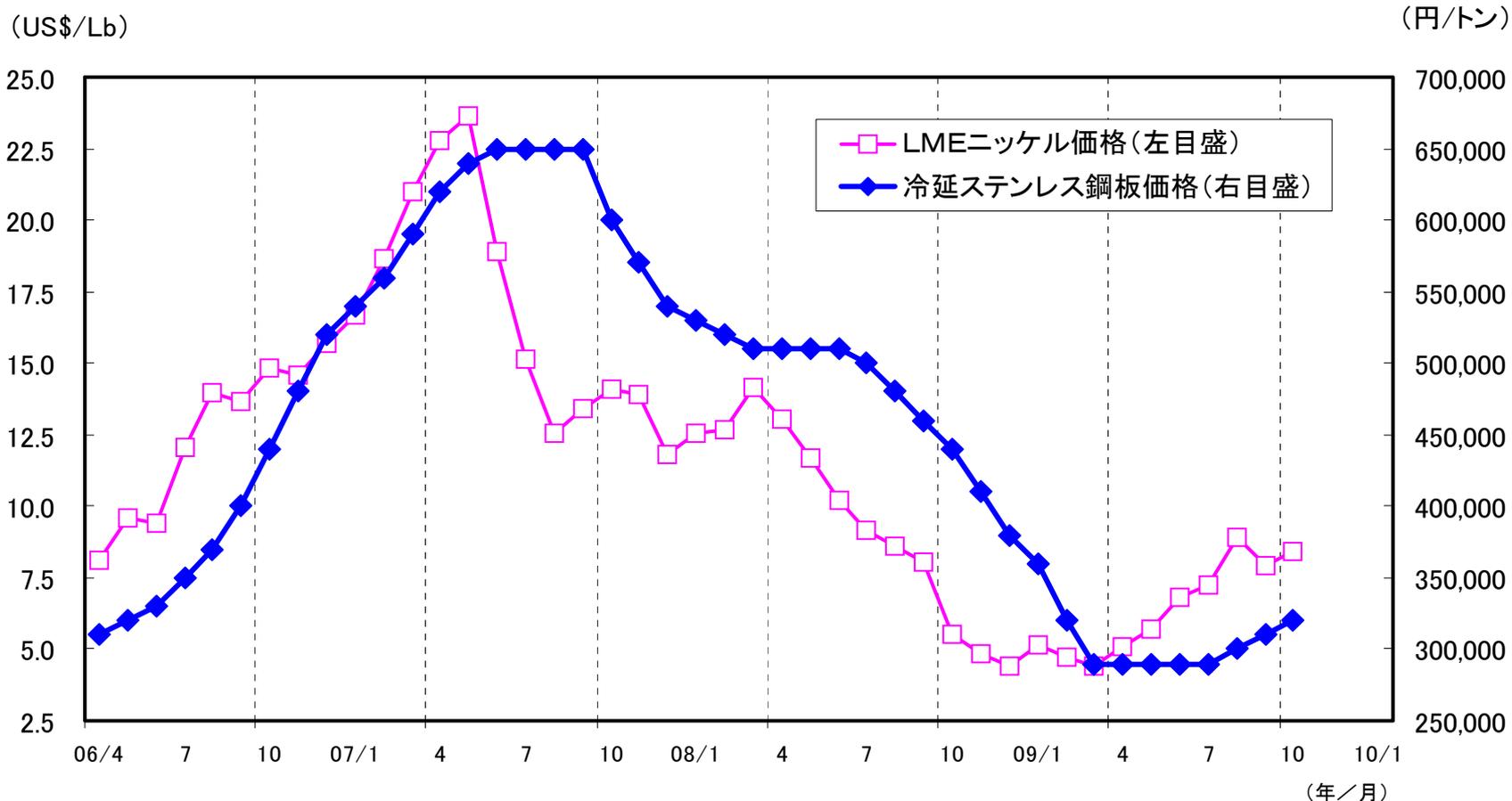


(注)いずれも2008年度第1四半期=100%で表示。

(年度四半期)

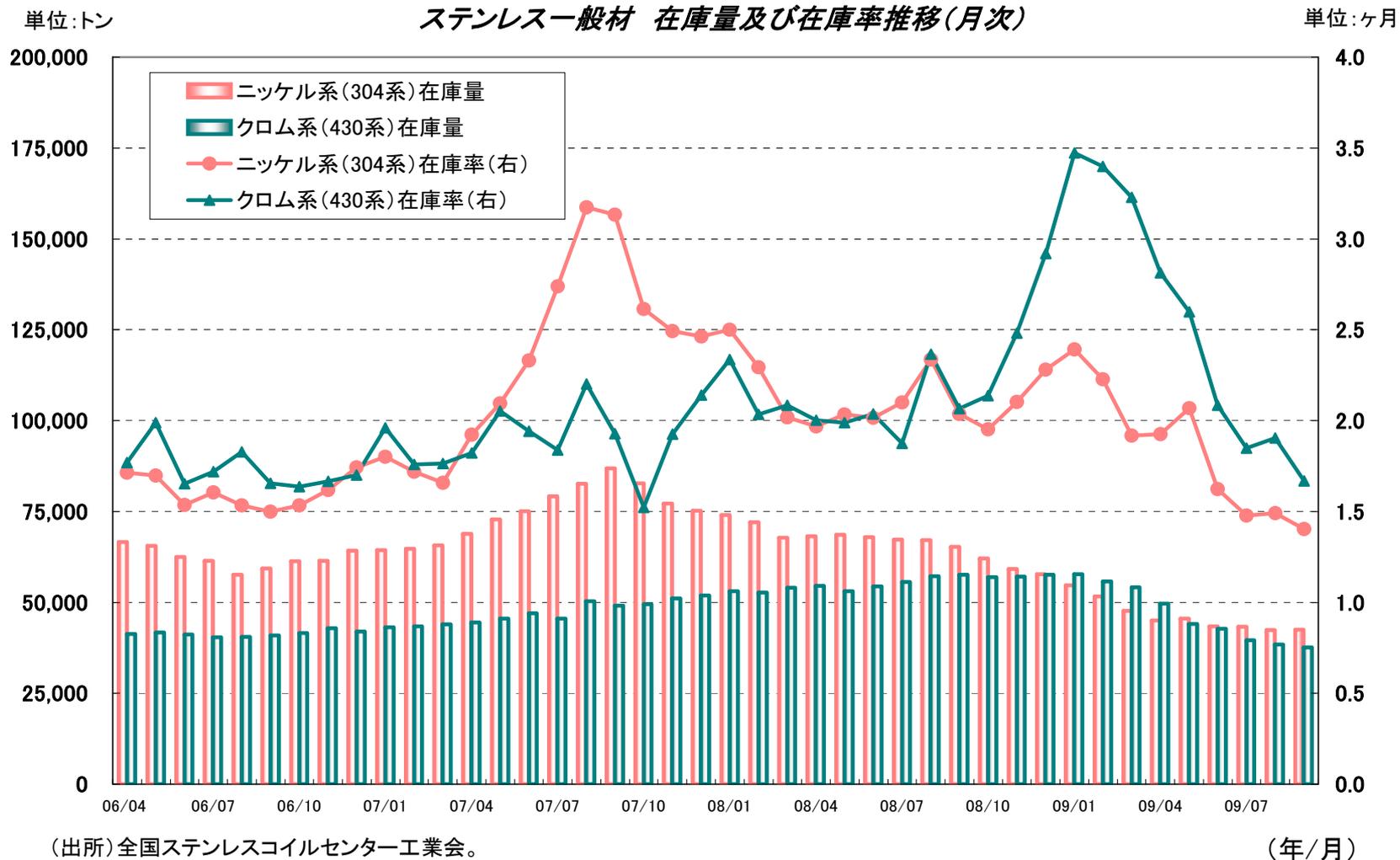
ニッケル・ステンレス価格の推移(月次)

▶2009年度4月以降ニッケル価格が上昇、ステンレス価格も8月から上昇へ



(注1)冷延ステンレス鋼板:東京SUS304種18-8、2~3ミリ。
(出所)鉄鋼新聞。

汎用ステンレス(ニッケル系・クロム系)在庫の推移(月次)



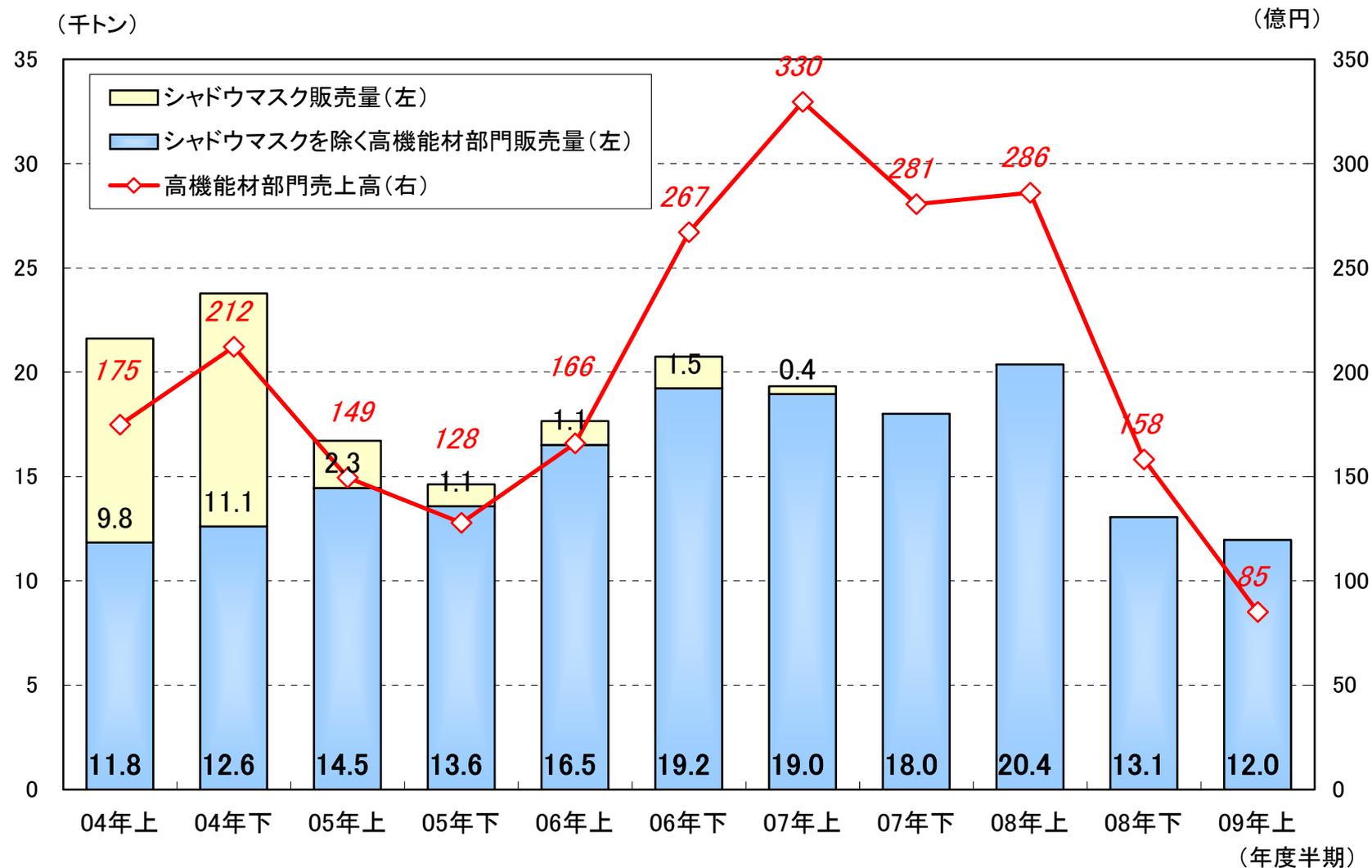
高機能材部門の状況

- 上期は、世界同時不況の影響を受けて国内外ともに販売は不振。電子材料、化学品関連の固定客の在庫調整に加えて、物件のキャンセルや先送りが続発。
- ただし前年4-6月と比較し、本年4-6月期は約5割減、7-9月期は約3割減と回復傾向。

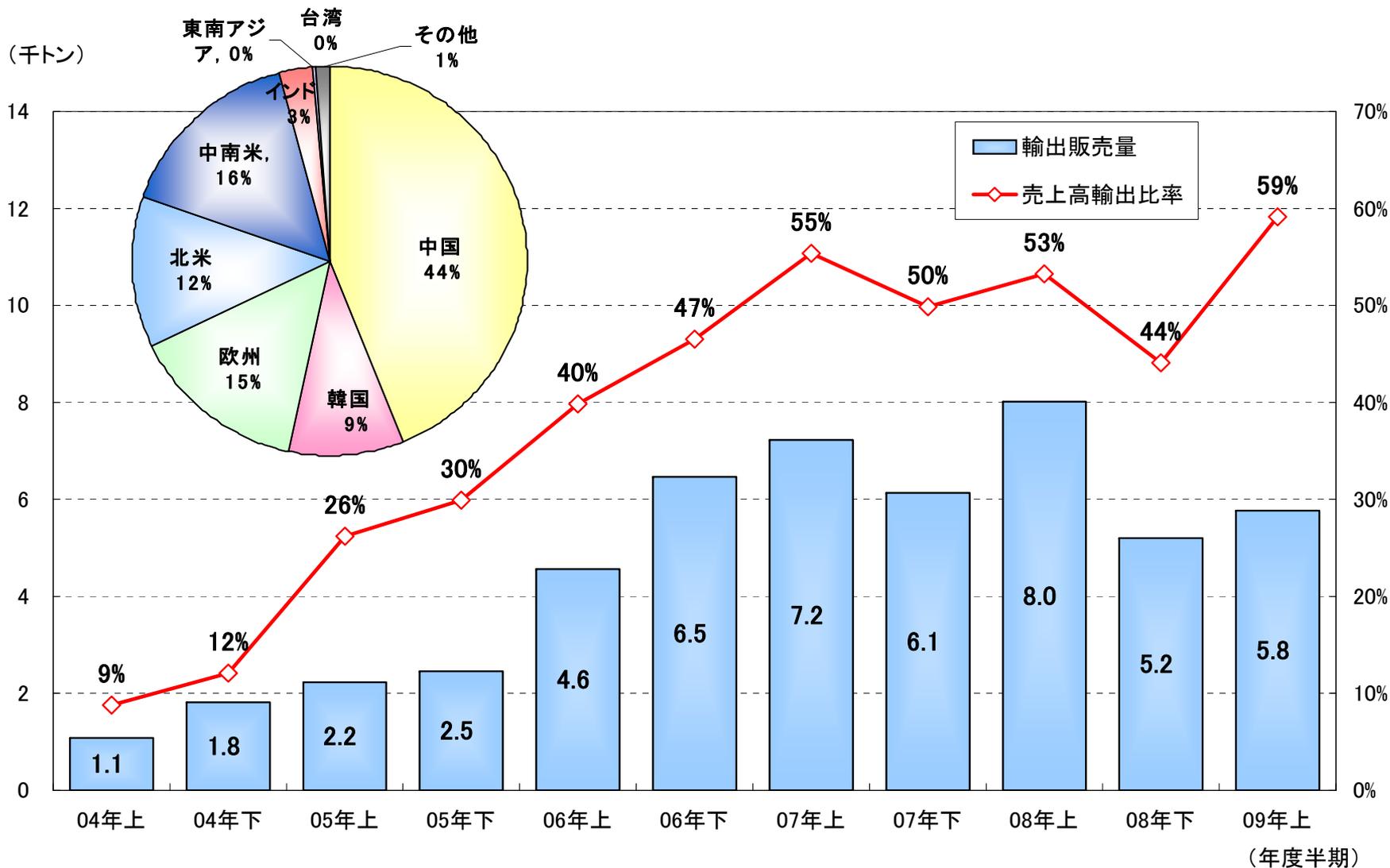


- 足元は、ニッケル価格の底固い推移もあり需要回復の兆し(中国の苛性ソーダ用純ニッケル材、シーズヒーター用など耐熱材、電子材大手ユーザーとの取引再開)
- 航空機ボディパーツ製造用金型用材は新規販売ルートの開拓により上期にシェアアップ。しかし新型機製造の遅れにより本格回復は来年度に持ち越し。
- 環境・エネルギー・水関連事業では、重要かつ緊急度の高い物件から動き出しているが、例外なく欧米メーカーとの競争状態

販売量及び売上高 《高機能材部門合計》



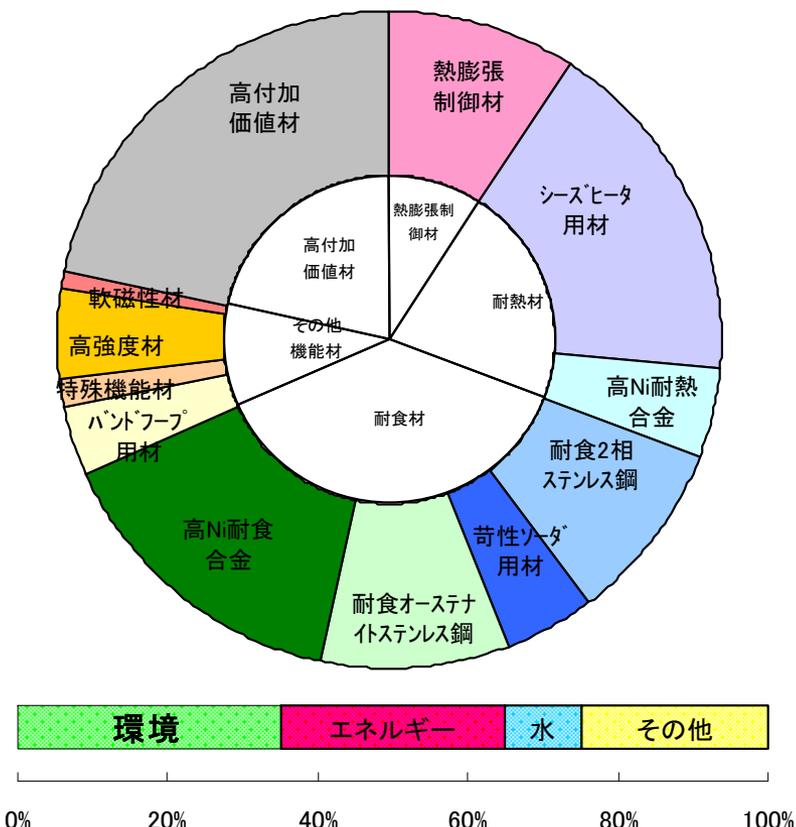
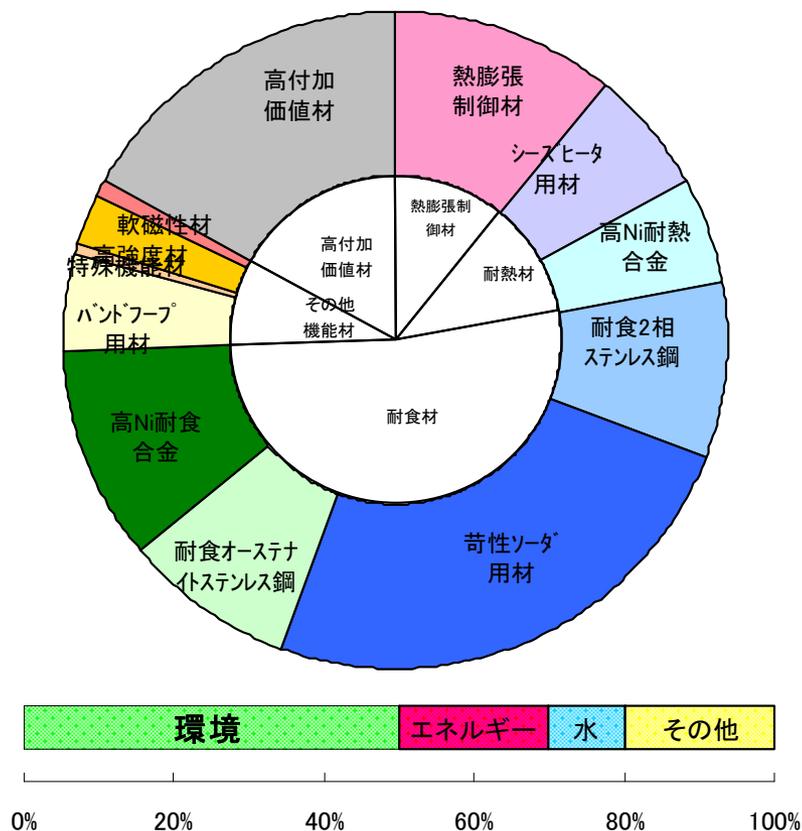
輸出の販売量及び売上高構成比 《高機能材合計》



高機能材部門の分類・用途別分類の構成比(売上高)

<2008年度>

<2009年度上期>



(注) 下部の帯グラフは高機能材部門全体における需要分野別の割合を示す。

環境・エネルギーインフラを支える高機能材

～炭酸ガス(CO₂)の削減効果を中心に～

「21のエネルギー革新技術」 ～経済産業省2008年3月発表～

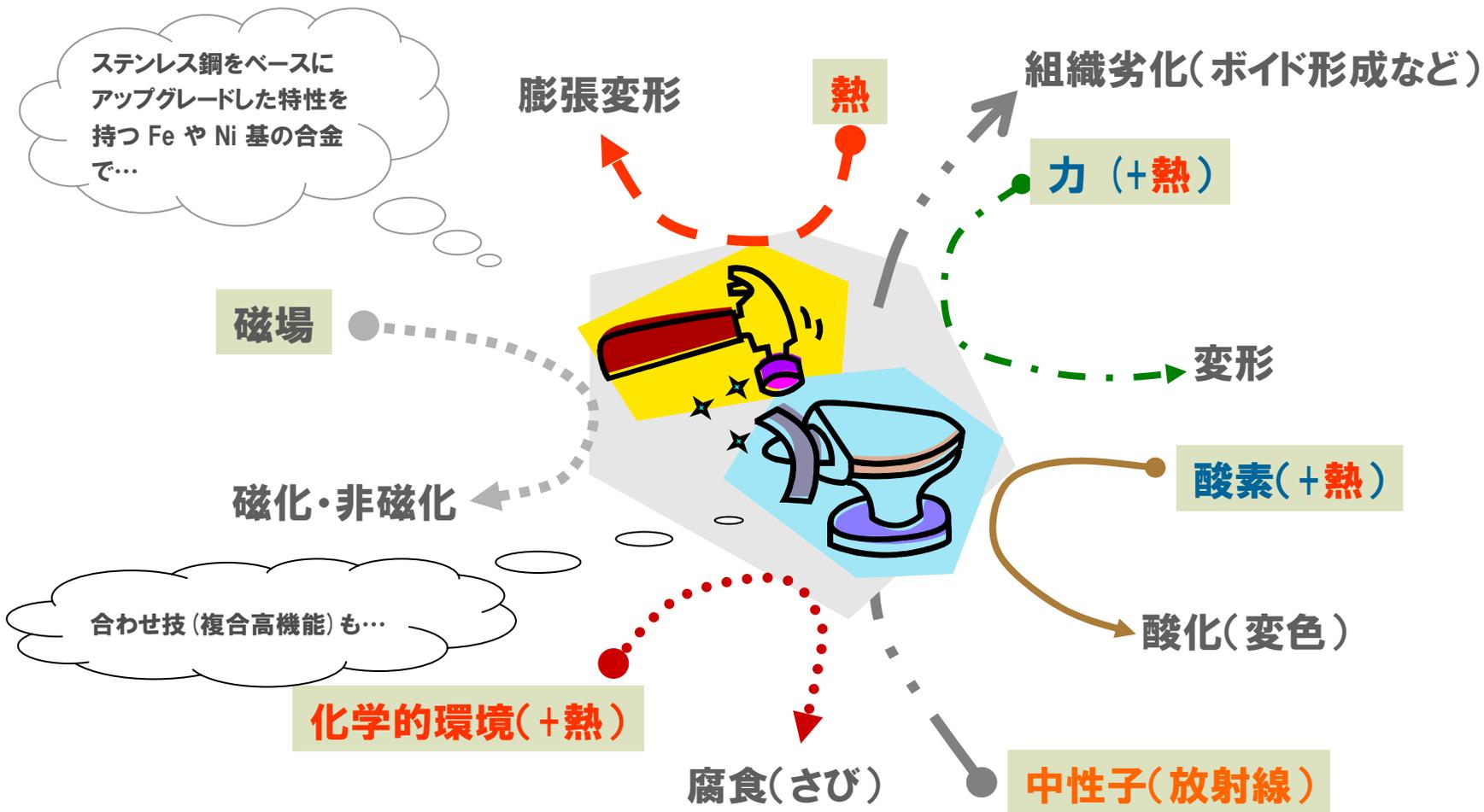


「CoolEarth - エネルギー革新技術計画」: 2050年までの温室効果ガス排出量の大幅削減に向けての21のエネルギー革新技術。

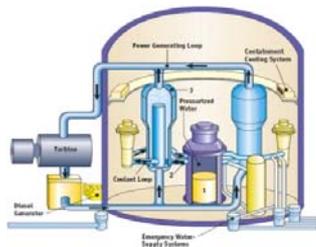
出典: 経済産業省資料

高機能材が評価を受けている特性

--- 英語では一般に、High-Performance Materials ---



高機能材が支える世界のインフラ

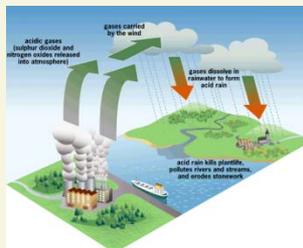


原子力発電所

- BWR
- APWR

海水淡水化

- 多段フラッシュ法 (MSF)
- 逆浸透膜法 (RO)
- 多重効用型 (MED)



熱膨張制御

- 炭素繊維強化構造用
- 大型精密部品
- 電波望遠鏡構造
- 宇宙機器
- 有機EL
- ディスプレイ製造

環境

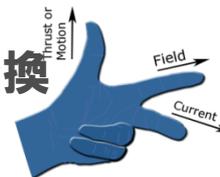
- 排煙脱硫装置 (FGD)
- 食品貯蔵
- 燃料電池、バッテリー

各種CLAD用素材

- 圧延・爆着
- 溶接オーバーレイ

磁気・電気・機械変換

- 磁気シールド
- トランスコア
- 非磁性用途



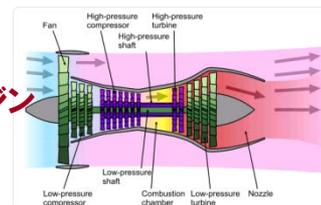
石油・ガス採掘

- 油井構造体
- 油送管
- LNG タンカー
- FPSO



高温

- ターボジェットエンジン
- 陸上発電タービン



電気・熱変換

- シーズヒーター



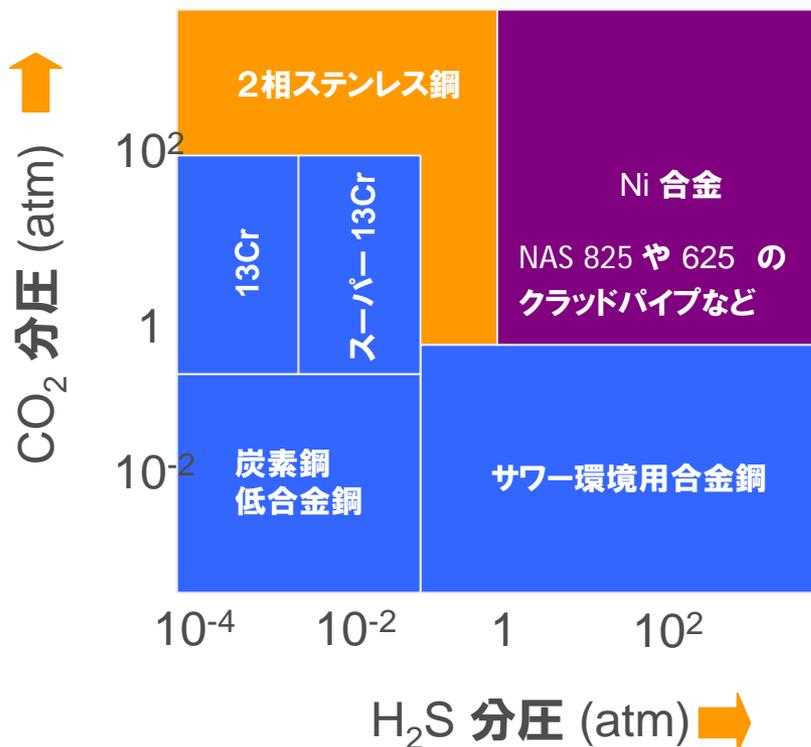
炭酸ガス(CO₂)削減に向けて

<p>1. 炭酸ガスを削減</p>	<ul style="list-style-type: none">■ 液化天然ガス(LNG)のタンカー輸送、ローディング、処理用素材■ 原子力発電所機器用、廃棄物処理用資材■ 航空機用炭素繊維複合材成型用素材■ 家庭電化用シーズヒーター素材■ 卓越した耐環境性と高強度がもたらす軽量化
<p>2. ライフサイクル性で</p>	<ul style="list-style-type: none">■ 長寿命を期待できる耐海洋環境素材

LNG(液化天然ガス)・厳しさを増す採掘環境

LNGは、**硫黄酸化物**や**CO₂**、水分などの不純物が液化工程の初期段階で取り除かれるため、燃焼排ガスにSOXがなく、**CO₂**の排出量が少なく、クリーンなガス燃料に位置付けられる。

深海からの採掘増加 ⇨ CO₂に強い2相ステンレス鋼へ



An offshore subsea rig

(出所) “Accelerating Distinctiveness – Seamless Pipe” by SUMITOMO METALS, April 2006

高Ni耐食合金：原油・天然ガス生産設備



油田ガス田から油・ガスを地上に導くための油圧制御及び各種センサーのケーブルを被覆する保護管素材として採用。

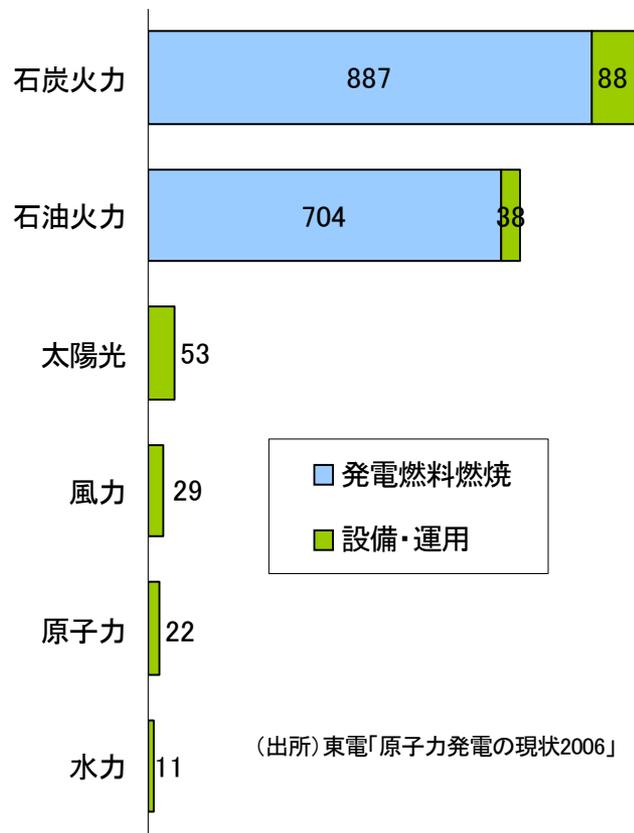
・NAS 825 0.7mm-1.3mm

高耐食合金NAS 825は塩化物や硫酸に対して優れた耐食性が評価され、原油・天然ガス生産設備や化学プラントなどに使用されています。

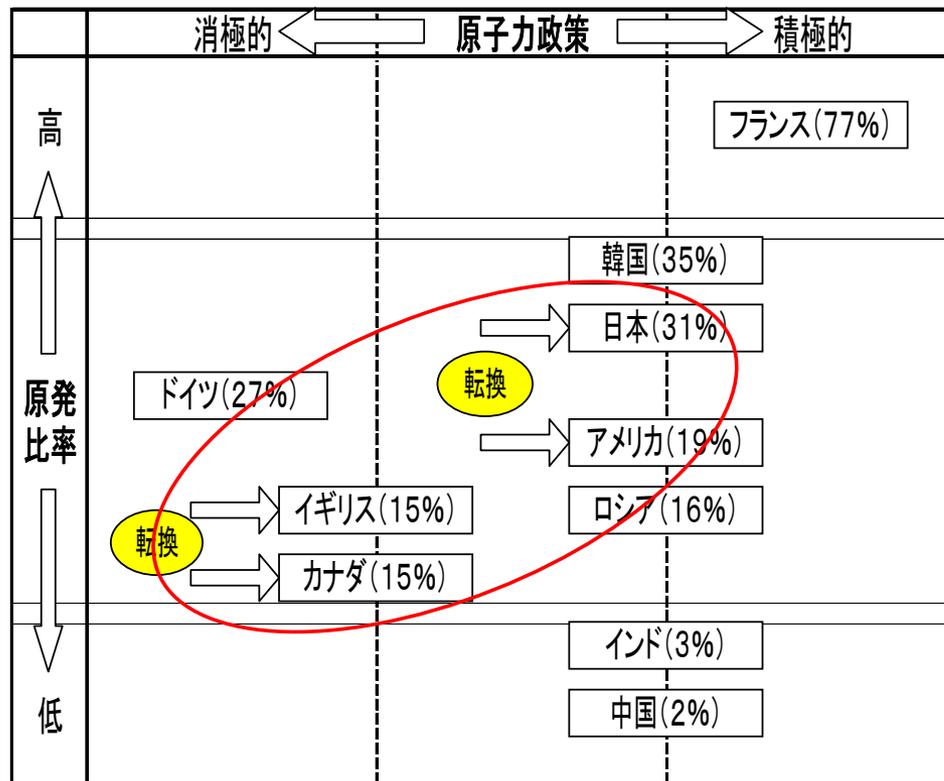
英国FINE TUBES社ご提供

原子力発電・見直される位置づけ

1kWh当たりのCO₂排出量(g)



変わりつつある主要国の原子力政策



(注) カッコ内は各国の総発電量に対する原子力発電の割合を示す。

(出所) 日本原子力文化振興財団「原子力2008」。

シーズヒーター用材：低コストでの電化が可能



家電製品に組み込みまれたシーズヒーター

・NAS 800L 0.4mm-0.5mm

・NAS H840 0.4mm-0.5mm

電力供給体制が炭酸ガス削減に有利なものであれば、電化したほうが、都市ガスを直接燃やすよりも、家庭におけるCO₂削減効果が大きい。

調理器を電化する場合には、IHヒーターよりもシーズヒーターのほうが初期導入コストが低い。

熱効率の比較

IHヒーター	約90%
シーズヒーター	約70%
ハロゲンヒーター	約70%
ガスコンロ	約55%

(注) 発送電ロスは考慮せず。

耐食オーステナイトステンレス鋼：海洋環境で力を発揮



陸上で組み上げ中のプラットフォーム

(鋼管杭直径：1,600mm、海上部の高さ：約 13m)

- **NAS 185N** (SUS 312L) 0.4mm
- **NAS 354N** 1.2mm

羽田空港を再拡張して第四滑走路を設ける工事が 2010 年の完成を目指して進行中。

このプラットフォームで、耐食オーステナイトステンレス鋼(スーパーステンレス鋼)が、その海洋耐食性から採用されている。

すきま構造が構成される部分では、とりわけ厳しい腐食環境が予想されるため **NAS 354N** が採用されています。

本日のアジェンダ

1. 2010年3月期第2四半期決算サマリー

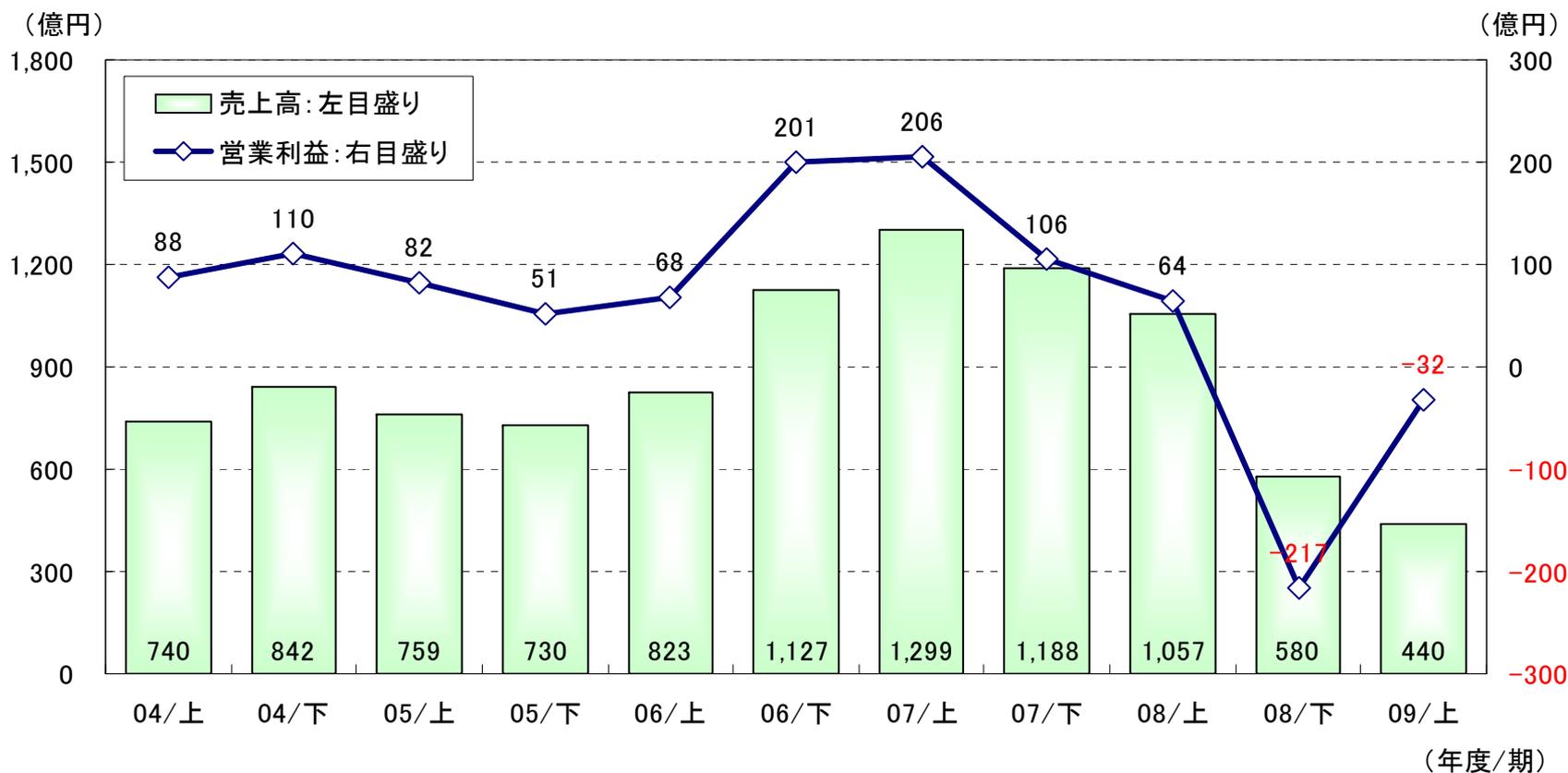
取締役経理部長 久保田 尚志

2. 足元の市況と高機能材マーケット

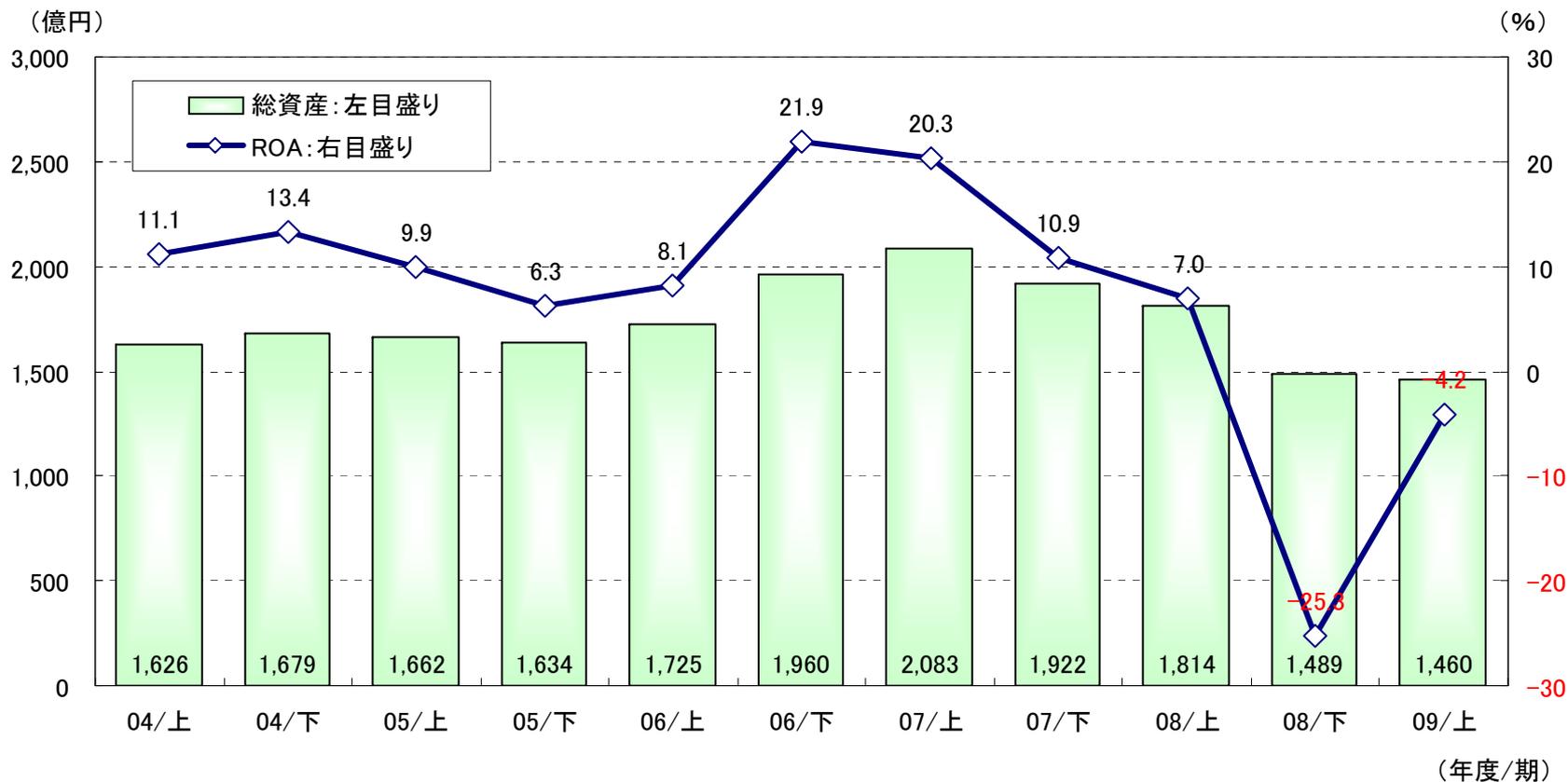
代表取締役社長 杉森 一太

＜参考＞主要データ(連結ベース)

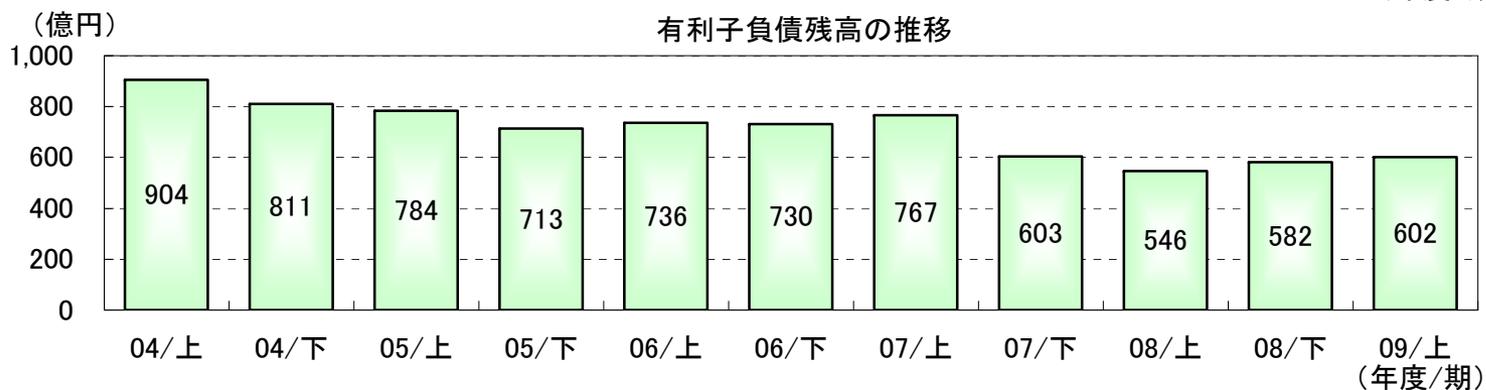
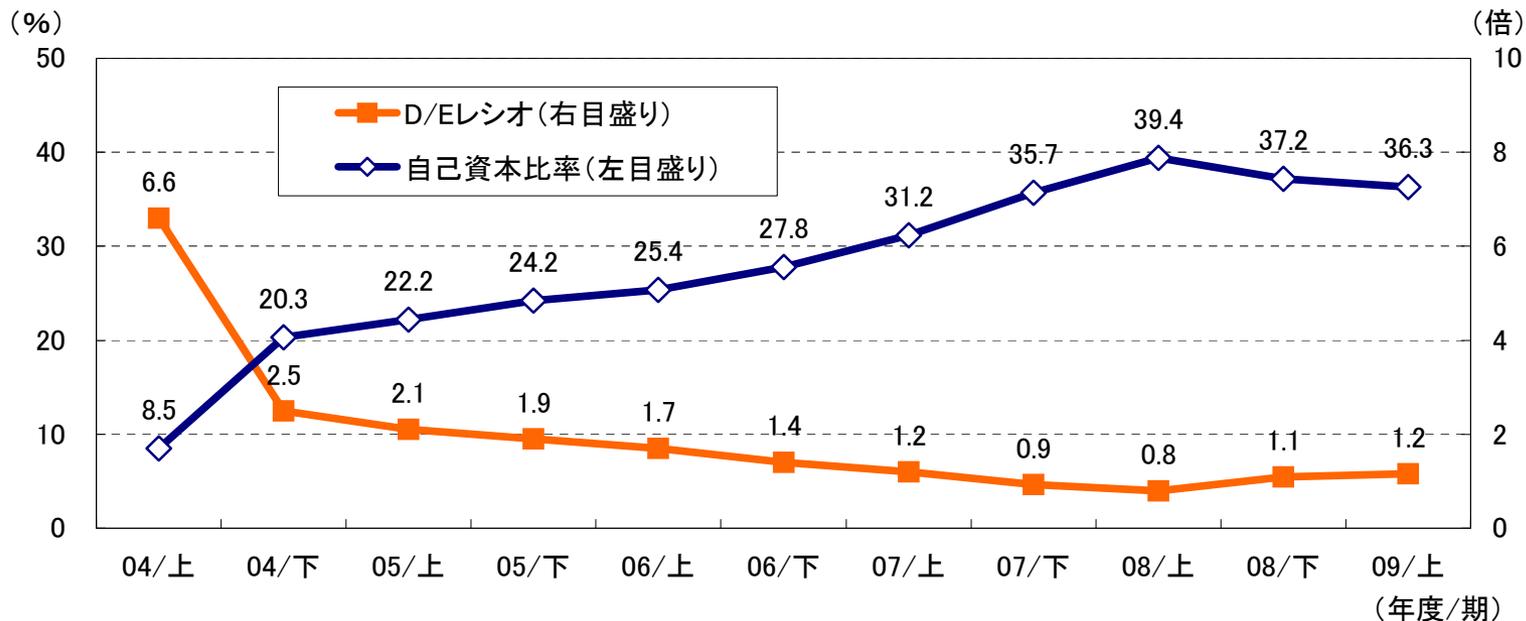
売上高・営業利益



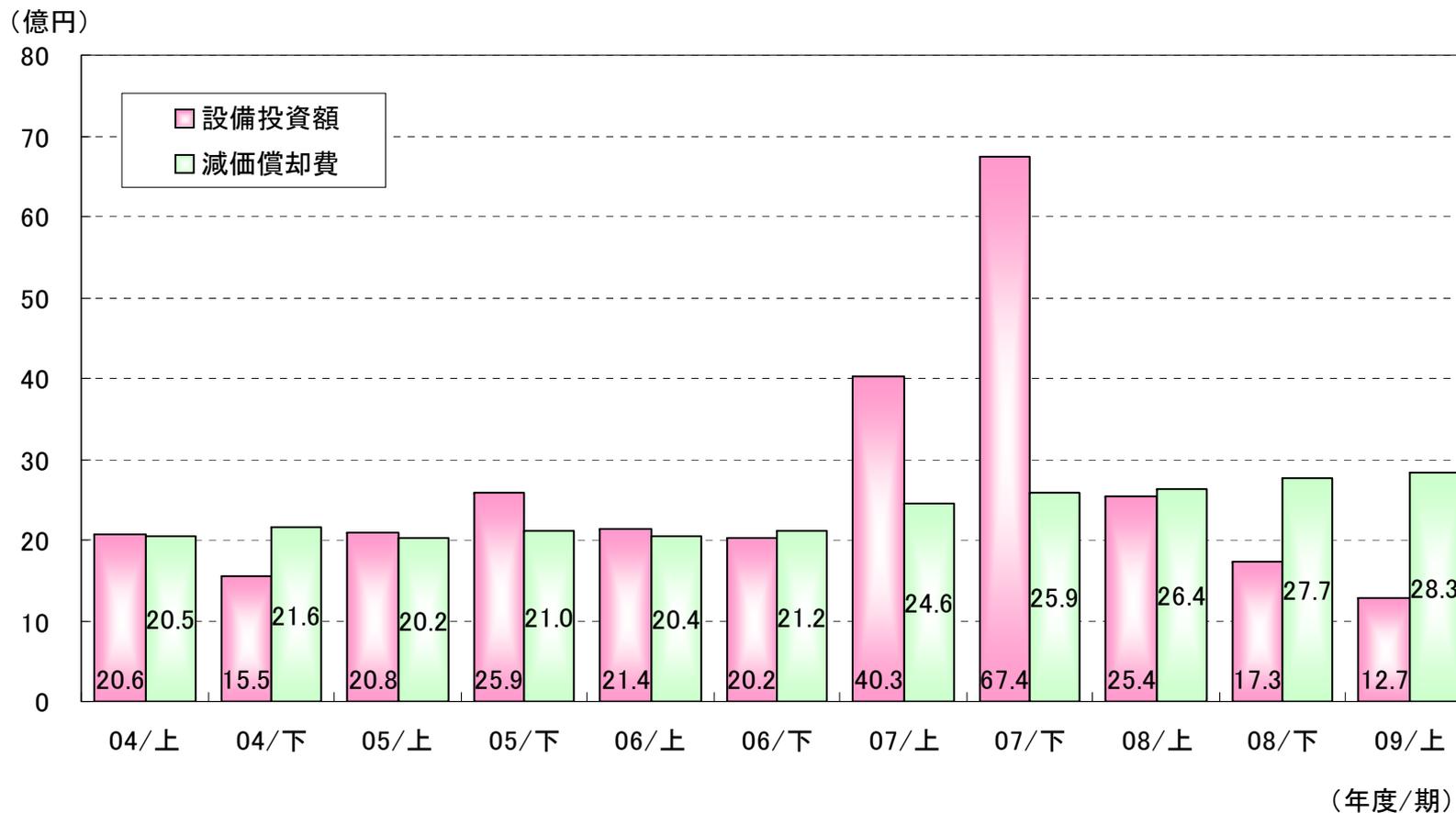
総資産額・ROA



有利子負債残高と自己資本比率、D/Eレシオ



設備投資(連結ベース)



歴史あるステンレスメーカーから新しいステンレス特殊鋼メーカーへ

日本冶金工業

本資料のいかなる内容も、弊社株式の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料に掲載された計画や見通し、予測等は、現時点で入手可能な情報に基づいた弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切の責任を負いかねますので、ご承知下さい。

【本件に関するお問い合わせ】

日本冶金工業株式会社 IR事務局

Tel. 03-3273-3613 /

E-MAIL. irjimu@nyk.co.jp